## 令和5年度 いじめ防止プログラム(年間指導計画)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	〇 入学式 〇 対面式	〇近隣小学校交流会 〇生徒総会 〇運動会	〇期末考査 〇家庭学習週間	〇面談	〇修学旅行	〇移動教室	〇中間考査 〇合唱祭	〇面談 〇職場体験	〇面談 〇人権週間	〇推薦入試	〇私立·都立入試	〇学芸発表会
	いじめは卑劣いじめ撲滅への宣言		ロールプレイ① 人間関係づくり									
学級活動	学級開き 学級のルール作り 留意事項 いじめのない学校づ くりのために生徒自らその重要 性に気付き考え行動できる仕掛 けを数多く提供する		「いじめのない学校づくり」 いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等に 起こる学級委員会を中心に皆の 目で見守り、いじめのない学校 に!		適応と整調及び健康安全 思春期の不安や悩みとその解 誰にでもある悩み 学級活動等におい て誰でも通る道な んだと言うことを理		め合える たせて、		l間と関わりを持 、生徒会主体で	自分だけと 大人も同じ ポジティブ	んでいる人間は自分以外にもいるんだ」 ・たけというネガティブな考え方でなく、友達や 、も同じなんだと言うことに気付かせ、少しでも ・ティブな考え方をもたせる指導のエストレ、生	
特別活動	自分の良さを再確認しよう		「いじめのない社会を作るために」 学級活動や部活動等で生徒の主役 となる場面の設定!		解させる 「夢の実現のために」 面談等を通して生徒 の夢の実現のために			したと 他者( を信頼	こめられたとき、目撃 ときにすべきこと」 での存在を認め互い 頼し合い、協力し	徒に自信を持たせ、いじめのない学校にさせる		15848
道徳		主として自分自身に関すること 自分の良さを再確認しよう 記め、健全な料 よう指導してい			必要な助言を行う 主として行	他の人とのかかわり! 関係、人間関係の確認				主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること 東日本大震災等の被災者の方々の気持ちや生 徒達の作文等を活用し、支え合う命の大切さ、生 きることの大切さを学ぶ		
合的な学習の時間	「進級・入学」 本校で良かっせる	に際して」 ったという実感をもた			支え合う命の	)大切さ   		<b>b</b> 27	Cより良い学校を創 		「卒業・進級に向けて」 本校で良かったという実	感をもたせる
各教科			「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる	生徒が分かる 感を持てる指	描導計画に基づき、 授業を展開し、成就 導の工夫・改善を行う、 業中は補習教室を実	「学力調査」の 「結果を踏まえ、 生徒の理解度 を確認し検証	「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる		「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる		「補充教室」勉強が わかることで自己有 用感をもたせる	
生徒指導	いじめ 各学期	2知アンケート 1回	生活アンケート 1回目	教	育相談		生活アンケート 2回目	教育相談			継続事案の核次年度への手	
庭・地域との連携		とめ根絶宣言 関連を表現します。 関連を表現しまする。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 関連を表現します。 とます。 とます。 とます。 とます。 とます。 とます。 とます。 と	基本的生活習を表	共同して徹底を	図る。「地域のボラ	ンティア」や地域	フェスティバル等は	地域に貢献し地域	の信頼を得る。ま	た、学校応援団	を活用し人材活用を図	33.
・ャリア教育	「生徒会としての方向性を考えさせる」 いじめは絶対許さない!傍観者でいない。 「はで達滅宣言! 人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力をすべての教育活動を通して展開するもの出る。各教科を「キャリア教育」と結びつけることが大切である。例:国語「話すこと・聞くこと」英語「話すこと」美術「表現・鑑賞」などとつなげながら能力を高めていく。 平成23年3月 文部科学省「キャリア教育の手引き」から											